

(博士後期課程) ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

ロボティクス&デザイン工学研究科は、実社会の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとし、本研究科博士後期課程は、工学的な知識・技術を活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成する。

<求める人物像>

1. ロボティクス、システム設計、建築学、インテリア・プロダクトデザイン学などを含む高度な学問的基盤を有する人物
2. 今後、(1)を発展させて社会で活躍する自分を確立する意思を持つ人物

入学前に学修しておくことが期待される内容

本研究科後期課程では、博士前期課程修了と工学的な知識・技術を習得し、自発的・持続的に研究開発に取り組む姿勢を有することが期待される。

一般入試

入学前に学修しておくことが期待される内容は、上述の通り。「面接試問」および「書類審査」により合否を判定する。必要に応じて筆記試験を行う場合がある。

出願に先立ち必ず専攻(領域)の指導教員に対し事前相談を行い、研究分野に齟齬がないか確認する機会を設けている。

外国人留学生入試

選考に関しては、学科試験は課さず、面接試問と書類(成績証明書、推薦書他)審査の結果を合わせて総合的に評価する。面接は、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で実施予定の研究内容について試問を行う。入学前に学修しておくことが期待される内容は、上述の通り。加えて、日本語文献の読解と日常会話が可能な日本語能力が必要である。